


【ねらい】
2位数÷2位数（仮商修正なし）の筆算の仕方を理解し、その計算ができる。

課題	折り紙が87枚あります。1人に21枚ずつ配ると、何人に分けられ何枚あまるでしょう。 (式) $87 \div 21$	わる数が何十じゃないね。計算できるかな？	
		$87 \div 21$ の計算の仕方を考えましょう。	

既習事項	①たし算を使って考える。	②ひき算を使って考える。	③かけ算を使って考える。	④何十÷何十のわり算を使って考える。	⑤わる数を何十と見て、考える。
------	--------------	--------------	--------------	--------------------	-----------------

自力解決	<table border="1"> <tr><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </table>		10	10	10	10	10	10	10	10									指導上の留意点 <ul style="list-style-type: none"> ●①②については、実物を用意し、実際に操作させながら、21枚ずつ何人に分けられるのかを考えさせていく。 ●黒板に10の束とばらの折り紙を掲示して活用させていく。 ●③では、答えの見当をつけていないため、どこまで計算すればいいのかめどが立たないことを実感させていく。 ●④は、除数並びに被除数もおおよその数にしているため、仮商の修正をする場合があることも予想される。そのため、次時の学習に関連付けるなど取り扱い方に注意する。
	10	10	10	10	10	10	10	10											
	<p>①たし算 <式> 1人 21枚 2人 $21 + 21 = 42$ 3人 $21 + 21 + 21 = 63$ 4人 $21 + 21 + 21 + 21 = 84$ $87 - 84 = 3$</p> <p style="text-align: right;">答え 4人に分けられ3枚あまる</p>																		
	<p>②ひき算 <式> $87 - 21 = 66$ $66 - 21 = 45$ $45 - 21 = 24$ $24 - 21 = 3$</p> <p style="text-align: right;">答え 4人に分けられ3枚あまる</p>																		
	<p>③かけ算 <式> $21 \times \square = 87$ $21 \times 5 = 105$ $21 \times 1 = 21$ 87を超えないのは 4 $21 \times 2 = 42$ $87 - 84 = 3$ $21 \times 3 = 63$ $21 \times 4 = 84$ 答え 4人に分けられ3枚あまる</p>																		
<p>④ 87を80 21を20と見て計算 <式> $80 \div 20 \rightarrow 8 \div 2 = 4$ $21 \times 4 = 84$ $21 \times 5 = 105 > 87$ $87 - 84 = 3$</p> <p style="text-align: right;">答え 4人に分けられ3枚あまる</p>																			
<p>⑤ わる数の21を20と見て計算 <式> $87 \div 20$ $20 \times 1 = 20$ $21 \times 4 = 84$ $20 \times 2 = 40$ $87 - 84 = 3$ $20 \times 3 = 60$ $20 \times 4 = 80$ 答え 4人に分けられ3枚あまる</p>																			
<p>どのようにしたら、商の見当を簡単に見付けられるかを考えながら友達の発表を聞いてみよう。</p>																			

1 どのようにして答えを見つけたか、自分の考えを発表する。



①は21をたしていったって87が一番近くなる数を見つけたよ。

②は87から21をひけなくなるまでひいていったよ。



③21をかけていったって87が一番近くなる数を見つけたわ。



④は87を80、21を20と見て10のまとまりで考え
 $8 \div 2$ で答えを見つけたよ。でも、87を80と見ていい
のか不安で 21×5 もしてみたよ。

集
団
思
考



⑤はわる数を20とみて、わられる数の87を超えないのは20の
何倍かを考えたわ。



どの考え方も良さそうだけれど・・・。



商の見当が付けやすいのはどれかをみんなで話し合ってみよう。



2 商の見当の付け方について話し合う。



①②は、数が大きくなればなるほど、どこまでひいていいのか分からなくて、大変だよ。

④は、何十÷何十の計算にして $8 \div 2$ の形で商を見つけたから簡単だったね。でも、87は90と見ることもできるわ。



⑤わられる数を何十にしなくても、わる数だけが何十だと商の見当が簡単に見付けられるわ。

3 $60 \div 20$ の計算の仕方をまとめる。



⑤の考え方をを使って、 $87 \div 21$ を筆算の形にまとめていきましょう。

$$\begin{array}{r} 4 \text{ ①} \\ 21 \overline{)87} \\ \underline{84} \text{ ②} \\ 3 \text{ ③} \end{array}$$

①21を20と考え
 $87 \div 20 = 4$ で「見当を付ける」
一の位に4を「たてる」



②21と4を「かける」
 $21 \times 4 = 84$



③87から84を「ひく」
最後に、あまりの3を書く。



●加減計算では、数が大きくなればなるほど計算が難しくなることを実感させる。

●④のように被除数と除数の両方をおおよその数にして計算した場合、仮商を修正しなければならない場合があるため、次時の学習との関連に注意して取上げる。

●それぞれの考えを基に「わり算の筆算の仕方」につなげていく。

●これまでの計算と違い「商がすぐにたてられない」ことを意識させ、仮の商（仮商）をたてさせていくことの大切さを身に付けさせていく。

●わり算のことばにまとめるときには、「見当」「たてる」「かける」「ひく」の4つのことばを大切にす。

ま
と
め

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

○ 本時のまとめをする。

・商の見当を付けるときには、「わる数」を何十の形にして仮の商（仮商）をたてて計算することが大切だ。

●商の見当「仮商」をたてると計算が間違わずに行える良さをしっかりとらえさせる。